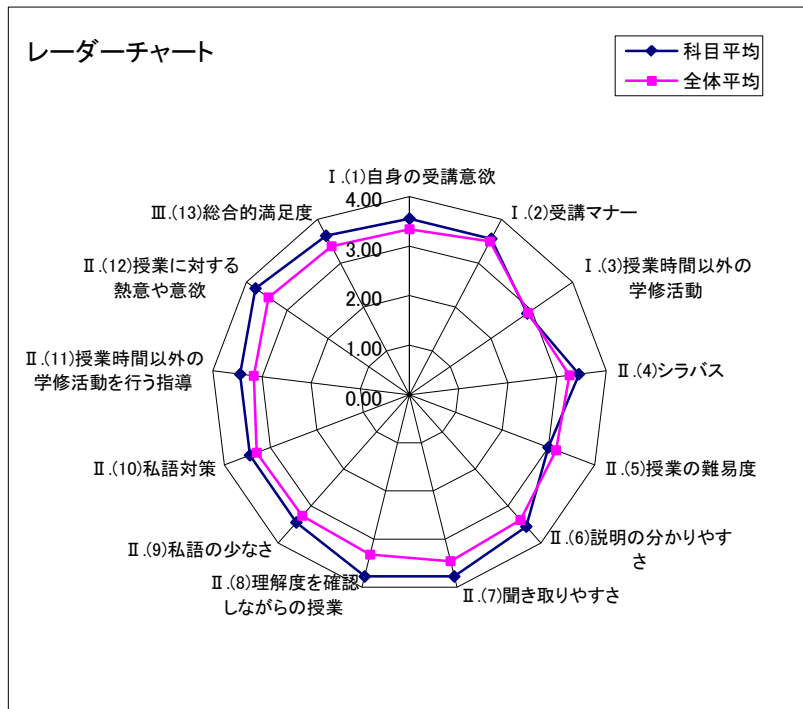
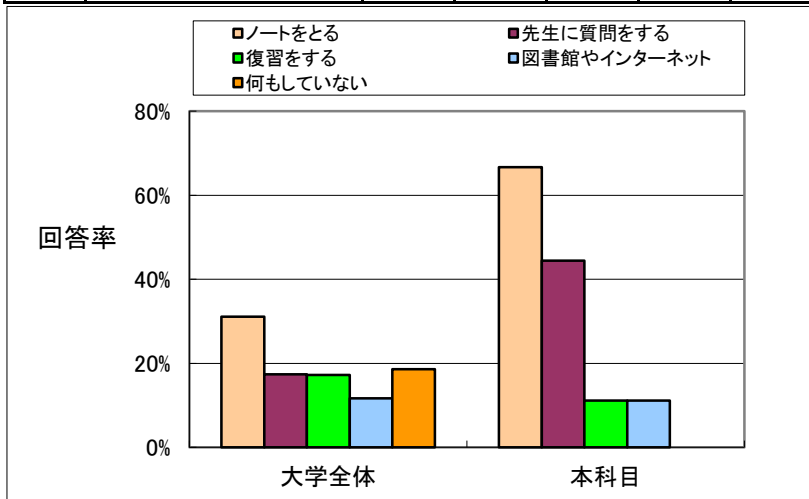


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(14)	授業を理解するための工夫	66.7	44.4	11.1	11.1	0.0



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	3.56	3.34
	I.(2)	3.56	3.49
	I.(3)	2.89	2.91
講義内容・方法	II.(4)	3.44	3.26
	II.(5)	3.00	3.16
	II.(6)	3.56	3.38
	II.(7)	3.78	3.46
	II.(8)	3.78	3.32
	II.(9)	3.44	3.27
	II.(10)	3.44	3.30
	II.(11)	3.44	3.17
	II.(12)	3.78	3.46
	総合評価	III.(13)	3.63

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 I.(1)~(3)	3.33	3.25
講義内容・方法 II.(4)~(12)	3.52	3.31
総合評価 III.(13)	3.63	3.39

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2012年度 後期
時間割番号	4109
科目名	債権法
教員名	

①授業計画の達成度について

前期の「民法Ⅰ」に引き続き担当した科目であるが、継続して履修していない学生もいたため、継続して履修している学生と新規履修の学生との間の知識差および理解度の差に苦心した。新規履修学生への説明に時間を割かざるを得ないため、当初の予定よりも達成度は落ちたように思う。来年度は新規履修学生へのケアをどうするかが課題であると考えている。

②授業の進め方について

基本的には、事前にプリントを配布し、プリントの内容に沿って講義を行った。法律は具体的な事例を踏まえて説明した方が理解しやすいので、なるべく身近な事例を用いて説明を行った。講義内容・方法等に関するアンケート結果はおおむね全体平均以上であり、次年度も本年度を踏襲して講義を行いたいと考えている。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

学生に熱意が伝わったことは素直にうれしいが、授業時間以外の学習活動及び難易度が適切でないとのアンケート結果が出ているので、次年度はこの点を改善したいと考える。授業時間外の学習活動を行うようになれば自然と難易度も克服できるのではないかとと思われるので、研究室での指導などを視野に入れ、さらに学習能力の向上を目指したい。